

皆様こんにちは。元ゆいスタッフ、現在は共同生活介護事業 あしり東地域グループホームほしの空 の三木が【余暇アセスメント】についてご報告致します。

今回は日常生活を送る中で欠かせない余暇の部分について、ゆいにて期間1週間のアセスメントを実施致しました。コンセプトは「色々なものを見て触って感じる」です。運動・感覚・光・おもちゃ・リラクスのブースを設け、今後の余暇支援のヒントにできるよう評価をしながら観察していきます。



・ 評価シート



・ 運動エリア



・ 光エリア



・ リラックス(休憩エリア)



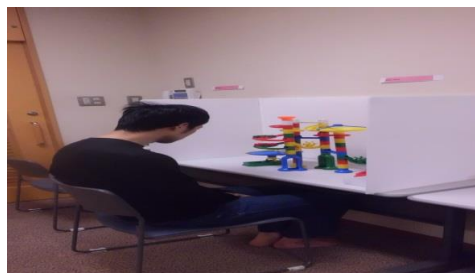
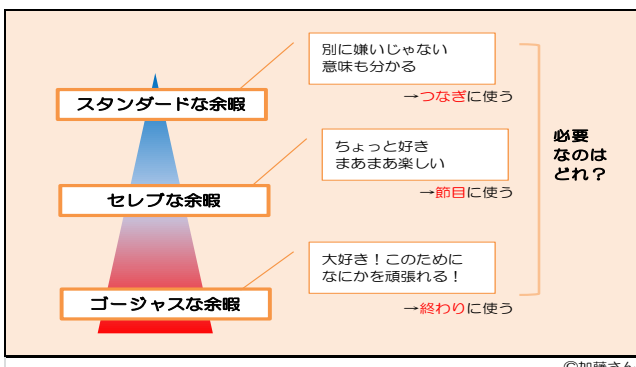
・ おもちゃエリア



・ 感覚エリア

写真はほんの一部ですが、アセスメント期間中、たくさんの方の余暇場面を見ることができました。誰にでもある「余暇」ですが、自閉症者支援の中で余暇を模索する、また、その余暇を生活に取り込むということは非常に難しく奥が深い部分であります。それでも、生活の質を底上げしより豊かな生活を送ることができるなら支援者冥利に尽きると思っています。

これからも様々な実践を通して、より充実した支援内容の組み立てをしていけるよう、日々努めてまいります。



・ 玉が受けに落ちるまで視線を離しません。何かヒントになるかも！！